三つ山の鐘

第88号

発行所　社会福祉法人純心聖母会　〒852-8142　長崎市三ツ山町１３９－５
恵の丘長崎原爆ホーム　電話（095）845－4181　ＦＡＸ（095）843－3907
URL　http://www.junshin-seibo.or.jp

今年も沢山の笑顔の花が咲きますように

神の恵みに感謝して

２０２１年、令和３年、新しい年を迎えました。新年のお慶びを申し上げます。

長崎でも感染が拡大し、不安と緊張の中での年明けとなりました。いつも温かいご支援、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。昨年同様、本年もどうぞよろしくお願い致します。

ホーム創立５０周年の恵みの年は予想もしなかった形で変更、変更、縮小の連続となりました。２月の緊急感染防止対策会議に始まり、「面会制限、外出自粛」とご家族の方々とご利用者の皆様にご協力を頂きました。手作りの園旗に願いを込め、職員は記念のＴシャツを着けて、ご利用者と一緒にささやかに記念式典を挙行。皆が笑顔で写真に収まり感謝の年を始めました。フロア毎の行事が増えた事で華やかさは無くとも、一人ひとりの表情が見えて笑顔が溢れる良い機会となりました。ミサも一時中止しましたが、感染の落ち着きに合わせて日曜日毎にミサをお願いし、２０名から３０名ほど参加して静かに感謝と祈りの時を過ごしています。９月に入り、恵の丘診療所の朝長万左男先生に「核廃絶のこれから」と題して５０周年記念講演会を実施。感染対策を徹底して職員約６０名が参加。１０月予定の記念式典と祝賀会は好機を待って延期と致しました。記念誌の発行準備を進めております。いつ、誰が感染するか分からない状況の中にあって、まず各自が感染対策の徹底に努め、感染の終息とそのために働くすべての人の為にホームを上げて祈り続けています。

今年は丑年。どんな丑がホームに現れるのか。１２月３１日この冬一番の寒波で池の桜の木に６０センチほどもある氷柱が並びました。重みで枝も折れたりしています。春の桜を案じつつ、皆様のうえに神の祝福をお祈り申し上げます。

施設長　堤　房代

被爆75周年記念

ホームでは8月1日～9日までを平和週間として取り組みました。

75周年祈念の旗を職員、利用者様一丸となって作成しました。

8月1日　園旗と一緒に掲揚しました。

被爆体験記

語り部　永瀬和子様

語り部のDVDを見る事で、改めて平和について考える時間を作りました。
感想を一部抜粋して紹介します。

・思い出したくない事を語る方の心を無駄にしてはいけないと感じた。
・『人の思いやりで人が豊かになれるのだ』と思う事を受け止めた
・何十年たっても印象に残っている風景があると心が痛い。
・人が人を憎しみ、殺し合う事、今1人1人が命を大事に助け合う事、平和の為に祈り動く事をこれからも大切にしたい。

平和を祈る作品展

これからも戦争のない、平和な世界になる事を祈っていきます。

～創立50周年記念講演会を開催しました～

テーマ：なぜ核軍縮は進まないのか？ ～核大国の責任～

講師：朝長 万左男 先生

恵の丘診療所 所長
日本赤十字長崎原爆病院 名誉院長
核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員会 委員長
核兵器廃絶被爆者国際署名運動 共同代表

七年前より恵の丘診療所にて診察して頂いております。その一方で世界平和、核兵器廃絶に向けた取り組みを全世界に向けて発信しておられます。

職員の感想

被爆地に住む私たちに分かりやすく、長崎の歴史をひもときながらの講演で、予定時間をオーバーしているのも気付かず、先生のお話に引き込まれていました。

難しい題目と思いましたが、戦争で原爆が落とされるまでを一歩ずつ振り返りながら、戦争のない平和な日々を維持していくためには、自分はどうしたらよいかを考えることができました。「戦争をしてはいけない」「核兵器禁止」とひとりひとりが声に出してはっきりと伝えていく事です。原爆ホームで被爆者の方々から体験を直に伝えて頂き、戦争の犠牲者は二度と出してはいけないと学びました。朝長先生のお言葉通り、世の中の動きや政治にしっかり目を向けて、日本が平和を維持してゆくように考えて行きたいと思います。

御自身も被爆者である朝長先生の幼少期や御家族のお話を交えながら、また、当時の悲惨な変わり果てた長崎の写真を用いながらのお話は分かりやすかった。また、幕末頃の貴重な写真では長崎の歴史にも触れることができた。

一万三千四百発にも及ぶ核兵器が存在するこの世の中で、特に北朝鮮は核の抑止力に頼って開発を進める。他の国も外交を進める切り札としている。いつの日か各国が歩調を合わせて何とかしなければならない。

創立時から原爆ホームの事をご存知の朝長先生のお話は、創立五十周年にふさわしい講演であった。

日本近代化百五十年、戦後七十五年、ホーム創立五十年をキーワードに世界・日本・長崎の歴史について聞くことができた。核兵器が世界に依然として一万三千四百発存在し、アメリカ、ロシアを始め核保有国が世界には9ケ国あり、その他にも核兵器保有を疑われている国もあるということを知り、大変驚くと同時に恐怖を感じた。

世界の核兵器保有国が数か国あり、長崎の原爆投下後、一度も核兵器を使用した戦争がないと言えども、今も世界のどこかで紛争が起こっている現実に、この先、平和な日本にもその恐怖が起こり得ないとも限らないと強く感じた。

被爆者の平均寿命が八十三歳となり、原爆投下時、まだ幼く戦争の記憶があまりないという利用者、被爆者が増えているが、原爆後遺症で苦しんでおられる方々の話を聞いたり、間近に接することで原子爆弾の威力や怖ろしさを再認識すると共に戦後、数十年たらずで平和できれいな街を創り上げた被爆者の方々に尊敬の念と感謝の気持ちでいっぱいです。被爆体験を語り継ぐという使命を、原爆ホームの職員として続けて行きたいです。

江角先生命日（40周年忌）

納骨堂でのお祈り

懐かしの江角先生と

各パートでのお祈り

2020年11月30日この日は、江角ヤス先生の40周年忌を皆様でお祈りしながら過ごしました。1980年11月30日夜明けごろ81歳の生涯を神さまのもとに返されてから40年の歳月が過ぎました。神さまのために働いて、生命を燃やし尽くした江角先生の生涯を貫いた「信念」それは「神さまを愛する者は万事ともに働いて益あらざるはなし」という聖パウロの言葉でした。

江角先生の信念を忘れる事なく受け継ぐ為に、毎年命日である11月30日に修道会の納骨堂へのお墓参りと皆様でお祈りをしています。今年はコロナの影響もあり、各フロアでのお祈りとなりましたが、江角先生の事を思いながら過ごす事ができました。また、江角先生に縁がある「豚まん」「鰻」を給食に準備して頂き、江角先生の話を聞きながら皆様で食べました。

（江角ヤス物語より抜粋）

創設者シスター江角ヤス（1899～1980）

三ツ山町のこの丘で、原爆で傷ついた学徒動員や校舎の下敷きになった人々を救い出し、世話をしました。この丘がなかったら純心は復興しなかったでしょう。そこでこの丘を「恵の丘」と名付けました。

世は平和になりましたけれども、国をおもい親をおもい、か弱い少女の身をもって工場で働き、遂に原爆の炎に生きながら殉職された生徒達のいじらしは、忘れることが出来ません。せめてもこの生徒達へお供えのつもりで、この子等に代わって年老いた父上、母上・・・原爆孤老の方々への御奉仕が出来たらと、この恵の丘にホームの建設をはじめました。

（施設の由来より抜粋）

三ツ山運動会～10月に特養各パートで実施～

一致団結！笑顔で楽しい時間を過ごしました。

赤組も！白組も！優勝めざして頑張ろう！！

たくさんの応援ありがとうございました。

恵の丘公園ピクニック　～１０月６日　晴天～

ときわ荘の下にある、恵の丘公園へ一般養護の利用者様全員でお弁当を注文し、ピクニックへ行きました。
天気も良く、秋晴れで気持ちのいい一日になりました。
コロナ感染予防で外出制限に協力して頂いている為、皆様久しぶりの太陽と風を感じ楽しかったとの事でした。

長崎警察音楽慰問　～7月21日　晴天～

長崎県警察音楽隊慰問がありました。密を避ける為、外で演奏をして頂きベランダや玄関ロータリーから見学しました。素敵な音楽に心も体も元気をもらい、「コロナに負けず頑張らんば」と利用者様から言葉がありました。

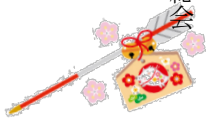
11月 創立50周年記念 ミニバザー

9月 敬老会

12月 創立50周年記念 餅配り

行事予定

一月　新年挨拶
　　新春ゲーム大会
二月　節分
　　二六聖人行事
三月　黙想会
四月　原爆ホーム創立の日（一日）
五月　福祉の日
　　家族会総会
　　母の日
　　聖母祭
六月　父の日



新利用者紹介

七月　十五日　金子　和子　様（特別養護）
七月　二十日　菊次　妙子　様（一般養護）
七月二十七日　馬込　サヱ子　様（特別養護）
七月三十一日　青木　スミ子　様（一般養護）
八月　十七日　勝本　佳子　様（一般養護）
八月　十九日　柴本　節子　様（特別養護）
八月二十五日　三浦　多鶴男　様（特別養護）
九月　十八日　山口　光男　様（特別養護）
九月二十五日　岸川　一枝　様（特別養護）
九月二十六日　久松　富士野　様（特別養護）
十月　十九日　森　靖子　様（一般養護）
十月　三十日　森田　守　様（一般養護）
十一月　二日　山口　キミ子　様（一般養護）
十一月　十日　中岡　光子　様（特別養護）
十一月十六日　山口　和子　様（一般養護）
十一月十七日　淵　藤子　様（特別養護）
十二月　二日　野口　政巳　様（特別養護）
十二月　九日　山上　恭子　様（特別養護）
十二月　十日　山崎　愛子　様（一般養護）
十二月二十二日　森下　能昭　様（一般養護）

「広報めぐみ」は、お休みします。

ホームを支えて下さる方々のご奉仕、ご寄贈・ご訪問本当にありがとうございます。

（令和二年七月～令和二年十二月）

米倉　秀喜　様
核兵器廃絶・平和建設長崎県民会議　様
日本共産党中央委員会　様
電機連合　様
安来製作所労働組合　様
内閣総理大臣　安倍晋三　様
参議院　様
日本生活協同組合連合会　様
日立産業制御ソリューションズ労働組合　様
マートドライクリーニング　様
松﨑　一郎　様
堤　孝彦　様
原水爆禁止長崎県協議会　様
長崎原爆被災者協議会　様
松尾　博文　様
永川　敏彦　様
板山ふとん店　様
川良　昭芳　様
髙尾　信枝　様
松尾　寿美　様
加藤　順子　様
㈱メモリード　様
菊次　昇　様
橋本　元子　様
鎮西大社　諏訪神社　様
鳥巣　洋次郎　様
聖ヴィンセンシオ会　中町協議会　外輪保良　様
まるなか本舗　様

～お知らせ～

＜個人情報について＞

個人名・個人写真につきましては、本人又は御家族の了承を得て使用させて頂いております。尚、広報紙以外の目的では使用しておりません。

＜苦情受付について＞

現在のところ、担当責任者で解決できています。